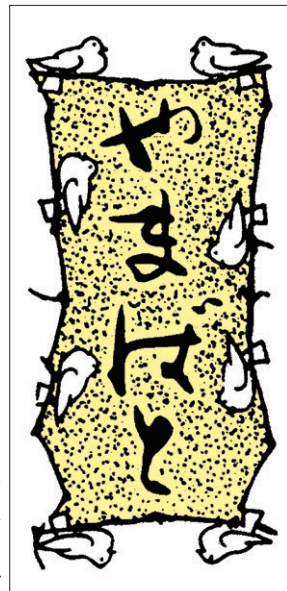


「この年もいろいろなことがありましたが、神さまから守られ導かれた歩みが、このビッグニュースの中に記されています。ご覧下さり、ご感想などお寄せ下さい。」

私自身は、「かたくりの花」の報告から、「重い障害を持つ子供に注ぐ親御さんの愛情」や、「障害があっても普通の人と少しも変わらないご利用者のお茶目な行動」、また、「重度障害者を支援する職員喜び」といった内容に感動しました。例えば、排泄など多くの面で助けが必要だっ

どの人も大切な存在

私たちは、障害を持つ人や高齢の方たちのための福祉事業を営んでいます。ご利用者の心身の状態は様々で、お元気な方もいらっしゃるけれど、全面的介助を必要とする方もいて、施設の日課もご利用者に合わせて多種多様です。例えば、「一般企業への就職を目的にした施設では、訓練的な内容の日課が多くなり、「健康維持」が目的の所では、体温や血圧測定、のんびりした散歩など、ゆったりした時を過ごします。共通しているのは、「一人人が好奇心や意欲を失わないよう、「仲間と交わる楽しさ」や「生きる喜び」を味わうよう支援している」ということでしょうか。



発行
 社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
 〒421-0412 静岡県牧之原市 坂部 2151 番地 2
 TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
 E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
 http://www.yamabatogakuen.jp/
 機関誌代は無料です。

た清水さんが、四年の間に少しずつ自分のできるが増え、サインで気持ちを伝えるようになり、それを見守る職員が「本当に良かったと思う」と記した箇所など、「どちらも頑張ってる」と、心から拍手したくなったのでした。

ご利用者の中にも職員の中にも元気な人、病弱な人、すぐ覚える人、時間がかかる人など、色々な人がいますが、「最も小さき人が安心して笑顔になること」が、何よりも求められていると、私は思います。

この五月四日、子どもの日を前にして、総務省は、十五歳未満の子どもの数を発表。男子500万人、女子480万人で、計1,320万人。総人口に占める割合は10.8%で、過去最低になったと発表しました。人口の23.9%だった時(1970年)から考えると、相当な減少で、その影響が、社会保障費等の面から案じられています。その対策も勿論必要ですが、何よりも大事なことは、どの子どもも排除されることなく、自信を失うことなく健やかに育っていくこと。「みんな、君のことを大切に思っているよ」という温かい思いが、家庭で、学校で、近隣で、子どもたちに、空気のようにならなくていいことではないでしょうか。

ビッグニュース

(2025年4月~2026年3月の大きな出来事を時系列で記載)

法人全体

★新しい就業規則が施行され、本年度から公休日は115日に(4月)

公休日の増加については、以前から要望がありましたが、2025年4月から、108日から115日になりました。取得義務の有給休暇が5日あるため、合計120日の公休となります。なお、11月1日、静岡県の最低賃金は1,034円から1,097円になりました。

★生活介護事業所「ケアセンターコスモス」の発足

「コスモス」は、昨年度末で就労継続B型事業所の活動を終結し、2025年4月からは「生活介護事業所・ケアセンターコスモス」としてスタート。前年度から続いた建物改修工事5月に完了し、7月29日には開所式を開催。

★二人の女性から、多額の遺贈が寄せられる

黒川道子様、山本八重様、それぞれの遺言に基づき、併せて3800万円の寄附が寄せられ、心から感謝して、一部は9事業所の車輛の購入に使わせていただきました。また、記念として車に「ハートを口にわえた鳩」のロゴマークをつけ、聖ルカホームの敷地に「はなみずき」を植えました。



★9月5日、牧之原市や吉田町に、風速「75m/秒」の、国内最大級の竜巻が発生。

施設の建物に被害はありませんでしたが、停電が続き(聖ルカ、グレイスは2日間、希望寮は3日間)対応に苦労しました。皆様から寄せられた見舞金(計720,727円)は、主として被災した職員(24名)のため、活用させて頂きました。

★外国籍のワーカーが過去最多の14人に

EPA生を初めて受け入れて以来、4年経過しました。2025年12月17日、インドネシアからEPA生(女性)2名がやまばと希望寮で働き始め、2026年2月9日からは特定技能「介護」の女性2名が聖ルカホームで働き始めました。年度末時点で外国籍のワーカーは過去最多の14人になりました。(EPA生5名、特定技能6名、その他日本人と結婚等3名)。

★DX学校IT導入士講座へ事務長ら4名のスタッフを派遣

今後の「有効なIT連携システム」を築くための研修です。期間は10月1日~12月末。1月14日に講座は終了し、IT導入士試験に全員合格。業務省力化のため、これからが本番です。



★その他

6月7日、新年度研修。開会礼拝は川崎一路牧師。基調講演は神戸聖隷福祉事業団理事長水野雄二様。「きっと大丈夫、私のキリスト教社会福祉」という題で、分かり易い励まされる内容でした。

〈理事長〉長沢道子

デイサービスセンター 真菜

★真菜畑でたくさんの実り!!

夏はキュウリにトマトにスイカ、秋はサツマイモなどたくさん収穫できました。特にスイカはハクビシン??に狙われましたが、手塩にかけて育てました。



★畑で収穫したさつまいもで切干し芋づくり!!

皆さん慣れた手つきで皮をむき、お芋の厚さにもこだわり、ウッドデッキで数日干して出来上がり!おいしかったです。他にもスイートポテトや芋汁粉を作り、みんな大満足。

★「絵がきや晴加」さんのご厚意で、バステルアート体験会(7月12日)

真菜のご利用者さんだけでなく、聖ルカの入居者さん、地域の方々も参加いただき、素敵な作品ができました。



★遺贈金で送迎車を購入、感謝!(11月)

大切に使用させていただいています。



ケアセンター 野ばら

★しまだインクルーシブスポーツパーク2026へ(10月11日)

島田市主催の、一般の方も参加するスポーツイベントに行ってきました。



まずはラジオ体操。参加者全員でしっかり身体をほぐし、その後、各グループに分かれて輪投げやボーリング、カーリングやボッチャなど、普段はできないスポーツも体験しました。秋のスポーツを満喫した一日となりました。

★焼津市の松風閣にて、創立26周年記念食事会(11月25日)

保護者の方を交えての食事会。26年間の軌跡のライドショーを上映し、色んな場面を思い出しながら楽しい時を過ごしました。また、

「SUONIAMO」様をお招きして音楽鑑賞。最後は参加者全員で「青い山脈」を歌い、会場全体が一になり、大いに盛り上がりました。

★菅祐亮様の移行(2月25日)

1999年の創立時から利用されていた菅祐亮さんが体調の変化により、聖ルカホームに移行されました。誰に対しても笑顔で接して下さる菅さんの前では、みんなつられて笑顔になっていました。沢山の楽しい思い出と、素敵な笑顔をありがとうございました。これからもお元気で過ごしてください。



ケアセンター 花もも

★ありがとう、Sさん!

長年ご利用いただいたT.Sさんが入所施設へ移行されました。時折見せてくださるにこした笑顔はスタッフの心を、一瞬にして打ち抜くほどでした。もうあの笑顔を見ることができないうちに寂しい気持ちでいっぱいです。新天地でも、Sさんらしく穏やかに過ごされることを心よりお祈りしております。



★はじめてのサツマイモ収穫

花ももスタッフは素人ばかりですのでお隣の真菜さんにアドバイスをいただきながら、昨年のはじめて畑にサツマイモの苗を植えました。Kさん中心に水やりをし、秋になり、いよいよ収穫の時。ドキドキしながら掘り起こすと、立派なサツマイモが育っていました!蒸かして食べたお芋はとっても甘くて美味しかったです!



★ご家族やお客様をご招待して、メリークリスマス☆花もも(12月12日)

内容は音楽教室の松浦先生の伴奏と、花もも音楽隊によるハンドベル演奏、クイズで答える今年1年の振り返り、笑いヨガの塚本さんのギター演奏とクリスマスソングなど。皆でクリスマスを祝い、楽しいひと時を過ごしました。昼食も豊富なメニューが用意され、感謝して美味しくいただきました。

垂穂寮

★ホットプランの活動再開(5月~2月)

新型コロナ感染対策で自粛していた「小グループの外出」を再開。参加したのは、垂穂寮の「生活介護」利用者たち。お弁当持参で蓮華池公園散策、カラオケ、ショッピング、カフェやレストラン・寿司屋でランチ、KADODOOIGAWAやそらっと牧之原への外出など、各グループが心ウキウキする時を過ごしました。



★やまばと旧職員の皆様と交流(5月17日)

久しぶりの再会、利用者は満面の笑みで喜んでいました。初代やまばと学園園長の宮崎道子さんはじめ、10名近くの旧職員さんたちとふれあい、貴重な時間を過ごすことができました。(なお、宮崎様は2026年4月14日ご逝去(96才)。園児たちに注いでくださった豊かな表情に心から感謝申し上げます。)

★島田市インクルーシブスポーツパークへ参加(10月11日)

増井さんと島津さんが参加。ボーリング、フープディスクッター、ラダーゲッターを行い、地域の方とのふれあいも楽しむことができました。(ローズアリーナで開催)



★キッチンカーの来寮(1月15日)

駐車場に設置された鯛焼き屋。焼きたての匂いにつられて、ご利用者の多くが足取り軽く向かいました。目の前で焼いている様子を見て、あんこかクリームを選んで受け取り、その場で美味しく召し上がりました。

ワークセンター 希望の家

★平均工賃アップ!!

2024年度は10,957円でしたが、2025年度は12,415円になりました!新規作業の受注に加え、職員が引き出した「ご利用者の新たな強み」と、みんなの「挑戦しよう!」という気持ちがかみ合った成果です。期末手当を受け取ったご利用者は、思わずホクホク顔☆



★地域との交流を深めるため、バザーに参加(9月・11月)

「絆フェスタmaru(金谷地区社協様主催)」と「金谷公民館まつり」の2回、ご利用者と一緒にはばざーへ参加しました。ワークセンターやまばとのパンと焼き菓子を販売したところ、あっという間に完売!接客を担当したご利用者は、袋詰めした商品を手渡したり、おすそめを尋ねられたりと、緊張しながらも立派に「施設の顔」を務めていました。他施設との交流も楽しむことができ、いい経験になりました。



★20歳おめでとう!(3月)

木村彩人さんが、3月に20歳を迎えられました。希望の家に通い始めて早1年。作業も覚え、驚くほどのスピードでシール貼りをする姿がとても頼もしいです!当日は仲間がお祝いの言葉を贈り、大好きなサザンオールスターズと一緒に描かれた似顔絵をプレゼントしました☆さらなる成長を、職員一同楽しみにしています。



地域活動支援センター レタスクラブ

★久しぶりの外食、昼食は回転ずしで(1月26日)

普段は室内でゆったり過ごし、時々散歩したり、畑で野菜を育てたり、昼食を作ったり、海岸清掃に出かけたりしていますが、久しぶりに外で食べることに。吉田町の回転ずし「かつば寿司」へ行き、それぞれが好きなものを取り、おしゃべりし、楽しい時間を過ごしました。(利用者5名、職員2名)



★仲間が増えました

6月からYさん(女性)の利用が始まりました。明るい性格で、スポーツや創作活動が好き、海岸清掃でも先頭を切ってゴミを集めています。レタスクラブの平均年齢がぐっと若くなりました。

みぎわ(グループホーム)

★夕食後、みぎわで花火鑑賞(9月6日)

みぎわの駐車場で、ご利用者たちは、職員が打ち上げた花火を楽しみました。夜空を彩る花火に笑顔や歓声。思い思いに季節のひとときを過ごしました。



★しまだインクルシブスポーツパークへ(10月20日)

島田市や地域自立支援協議会等が企画し、島田市総合スポーツセンターローズアリーナで開催。みぎわのご利用者職員が参加しました。ご利用者は地域の方々と共に競技(ポッチャ、フロアカーリングなど)や交流を楽しみ、笑顔あふれる充実した1日を過ごしました。



★大津ふれあい祭りに行きました(11月2日)

場所は島田市大津農村環境改善センター。ご利用者4名と職員1名が参加しました。会場では地元小学生のよさこい踊り・合唱などを楽しみ、出店で買物をしてお祭り気分になりました。地域の方々との交流もあり、和やかで充実した時になりました。

聖ルカホーム

★最初のEPA生セブティさん、滞在4年目で介護福祉士資格を取得

難関の介護福祉士試験に無事合格、当施設でもっと働きたい気持ちもありましたが、諸々の事情により、インドネシアへ帰国されました。よく学び、よく働いた真剣な姿は、職員たちにも伝わり、お互いに良い影響を受けた時間となりました。



★竜巻の影響で2日間停電(9月5日)

暑い中、エアコンの停止はとても厳しい環境となりました。そんな中でも、他法人様から生活水道水の提供、市内ガソリンスタンド様から、燃料タンクへの燃料補充のご協力、他施設からの暑さ対策の応援もあり、職員たちも必死の対応をしてサービスを継続することができました。今までで感じたことのない長い2日間でしたが、暖かい支援に励まされ乗り切ることができました。



★ユニットケアに取り組み、ユニットリーダー研修の現地研修施設に認定される

入居者一人ひとりが、自律的な日常生活を送れるように、そして暮らしの継続が叶うようにという思いで、ユニットケアに取り組みました。そして、3ヶ月の実習を経て、リーダー研修の現地研修施設として認定されました。これから更に、研修受入れを通して聖ルカホームの支援をより豊かなものにしていきたいと思います。



デイサービスセンター すずらん

★浴衣姿で夏祭り(8月)

ご自分で選んだ浴衣を着て、夏祭りに参加しました。せっかくなので、浴衣姿を



写真におさめ、モデルになった気分も味わい、日本を感じさせる昔懐かしい夏祭りとなりました。

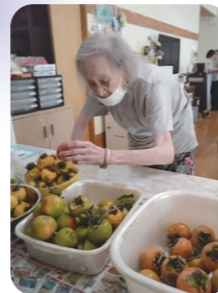
★地域の皆様と敬老会(9月)

坂部の方をお招きし、敬老会を開催。地域の方からは「東京だよおっかさん」をカラオケと踊りで盛り上げていただきました。参加された皆さんに感謝状をお渡しすると、涙を流す一幕もあり、職員がもらい泣きをしてしまいました。



★干し柿づくりに初挑戦(10月)

ご利用者のお宅から渋柿が届きました。皆さん手慣れたもので、皮むきから干すまでの工程はあっという間に終了。その後、甘くなるのはいつなのかと毎日日々指折り数えて待っていたところ、10日ほど経つと、あの渋さが嘘のように甘くなり、あっという間に食べてしまいました。



ケアセンターかたくりの花

★数年ぶりの成人式、ご家族を迎えて幸せな時間(1月7日)

ご招待したお母様お祖母様と共に、主役の伏見翔空さんがビシッとスーツ姿で登場。普段発語の少ない村松さんや恥ずかしがり屋の大橋さんからもはっきりと「おめでとう」のお祝いの言葉、他の利用者の皆さんからも口々に「おめでとう」。成長の記録スライドショーが始まり、赤ちゃんの頃の姿に「かわいい〜」の声が飛び交い、段々と今の伏見さんになっていくと、「大きくなったね〜」の声も…。お母様が手紙を読み始めると、伏見さんはしっかりとそちらを見て「うんうん」と頷いている様でした。愛情が溢れ出ているお手紙に盛大な拍手が送られました。皆さん、母の愛を感じ、胸がきゅっとなりました。



★「スイカ割り」から「メロン割り」へ(7月18日)

メロンの上に新聞紙で作った紙風船を乗せ、力の弱い方でも割る感触を味わえるように工夫しました。皆さんそれぞれ目隠しやサングラスをして順番にピコピコハンマーでメロン紙風船を狙って叩きます。宮浦圭佑さんは名前を呼ばれると嬉しそうに前に出てサングラスを装着。「叩くよ〜叩くよ〜」とハンマーを振り上げたまま中々振り下ろさずにみんなの反応を楽しみます。最後はピコピコハンマーで力いっぱいメロン紙風船をつぶしました。「あ〜!!」と大きな声で大笑いメロンが割れた後は試食タイム。皆で割ったメロンはとっても甘くて美味しかったです。ご招待した花もものご利用者と職員の皆さんも、一緒に楽しい時間を過ごす事が出来ました。



★来年4月から仲間になる秋田燎佑さん、実習へようこそ(3月1日)

石神早紀さんは実習中の秋田さんに優しいまなざしを向けてかわいい後輩を遠くから見守っています。散歩で、秋田さんが蛇行すると石神さんも同様に蛇行。彼をよく見て、気にかけて、心を許しているような、見守っているような、そんな温かさを感じます。休憩で立ち止まると足が震える秋田さん。石神さんの腕にそっと手をかけ頼ると、石神さんも「いいよ」と言うかのように、じっと受け入れています。昨年までは職員に甘えたくて座り込むことの多かった石神さんでしたが、「先輩としてよろしくね。」と言うと、小さく頷き、しっかり歩き出す姿、頼もしいかぎりです。



★藤田農園さんへいちご狩り〜新たな場所で(5月30日)

真っ赤なイチゴを前に目をキラキラさせ大きな口を開けていた坂田茜さん。経管栄養の茜さんのために、お母様はもぎたてのイチゴをミキサーにかけ、皆と同じように口から味わえるよう茜さんの口もとへ。茜さんはとても嬉しそうでした。個別外出、カフェ訪問、そばの会、ひまわり畑など、お母様はたくさんの方と一緒に参加していただきました。いつも満面の笑みで応えてくれた茜さんでしたが、3月に他施設に入所となり、新しい歩みを始められました。これからも笑顔でいてください。かたくりの皆も応援しています。



★みんなと過ごすあささわふるさと公園(11月4日)

2021年にかたくりの仲間になった清水友雅さん。当初は排泄面や食事面で大幅な支援が必要で外出にも細心の注意が必要でしたが、継続的な声掛けや見守りに支えられて、少しずつ少しずつ集団生活のルールが身についていきました。スプーンを使って自分で食べられる様になり食べこぼしが減り、トイレでの排泄にも自らサインを出せる様になり、外出中に道に座る事もなくなり、しっかり前の人に歩いて歩くようになり、色々な体験をして清水さんの世界はどんどん広がっていきました。個別外出では10人以上のご利用者と一緒にあささわふるさと公園へ出かけました。職員が園内の散策に誘うとぐんぐん職員の手を引っ張って嬉しそうにどんどん進んで行きました。昼食のアジフライ定食はとっても気に入って、自分のお皿に早く入れて欲しくて、もっともっととサインを出していました。デザート購入にも挑戦。職員と一緒にソフトクリームを選び完食。落ち着いて食べ、皆さんと一緒に楽しそうに過ごす清水さんを見て本当に良かったと思ったのでした。

診療所

★やまばと診療所に高木恵次先生が着任されました

2025年4月より、精神科医の高木恵次(たかぎ けいじ)先生が、やまばと診療所の医師として加わってくださることになりました。これにより、ご利用者の皆様が外部の医療機関へ出向くことなく、施設内で適切な診察を受けられるようになります。より安心・安全な生活を支える体制が整ったことを、職員一同大変心強く感じております。



やまばと希望寮

★2025年度も、ご家族の皆様との交流を目的としたプログラムを進めました!

2025年度も、一緒に楽しめるプログラムを多数実施。5月のポップサーカス鑑賞、6月の浜松動物園、9月の昼食会や清水港クルーズ、10月の秋祭り、11月の掛川花鳥園散策、12月のクリスマス会など、季節ごとの行事を通して交流の機会を大切にしてきました。「楽しい時間だった」といったお声もいただいていますので、引き続き、皆様と笑顔あふれる時間を重ねていきたいと思ひます。



★情報伝達の向上等を目的としてインカムを導入(11月)

ICT導入支援事業の補助金を活用しました。導入から2か月後の振り返りでは、多くの職員(70~95%)が「業務の効率化」、「ケアの質の向上」、「業務負担の軽減」、「ヒヤリハットや事故防止」につながっているとの意見でした。今後も、この仕組みを活かしながら、より安全で質の高い支援を目指していきます。



★インドネシアからEPAの女性ティウィさんとヨシさんが着任。希望寮へようこそ!(12月)

EPA生の受け入れは初めてです。毎週水曜日は日本語や介護福祉士試験の勉強に励み、それ以外の日はご利用者への支援に一生懸命取り組んでいます。3月のひなまつりでは、初めてちらし寿司を体験され、「とてもおいしかったです!」と笑顔で話してくれました。日本の文化にも触れながら、希望寮の一員として日々頑張っています。

★ご利用者さんとお別れ、そして、新しい出会い(2月)

12月から入院され、一時は回復に向かっていたKH様が、2月にご逝去。同じく12月にはYK様が入院後に療養型医療施設へ移られて退所。お二人とも長く希望寮で過ごされた大切な方々であり、続けてのお別れはとても寂しい出来事でした。しばらく後、大きな体とやさしい笑顔が印象的なKT様を新しい仲間としてお迎えしました。これからがとても楽しみです。



ケアセンターマーガレット

★初の試み!秋の収穫祭!(6月・10月)

畑で種芋を植え(6月)、その後みんなで収穫したさつまいもを、10月17日の収穫祭で大学芋にして味わいました。手間をかけて育てた芋を食べられたことはとても嬉しく、ゲームでも盛り上がりました。1年間の活動を楽しく振り返る時間になりました。



★防災・感染症BCP研修(7月・10月)

夏に防災訓練を、秋に感染症の訓練を実施しました。災害や感染が「いつ」「どこで」起きてても対応できるよう、役割を確認しながら真剣に取り組みました。

★恒例の秋のバス旅行(11月14日)

「のんほいパーク」へ出かけ、仲間や職員と一緒に園内を見て回りました。動物や展示を間近で観察でき、心が弾みました。天気にも恵まれ、ゆったりとした時間を過ごせたことで、みんな、笑顔いっぱい。



★あつまりリーナ全体で盛り上がったクリスマス会(12月12日)

ご利用者と職員が一緒に催し物を観て楽しみました。温かい雰囲気の中で笑顔が広がり、工夫された出し物に心が和みました。会の締めくくりにはみんなでケーキを味わい、とても満足しました。

★1年間の頑張りを皆に報告(3月27日)

1年間どんなに頑張ったかを一人ひとりが発表し、互いの成長を知りました。発表を通して、仲間の取り組みにも刺激を受けました。温かい雰囲気の中で一年を締めくくりました。



ワークセンターなのはな

★ドキドキした起震車訓練(8月8日)

なのはな駐車場で恒例の起震車での体験をしました。クイズ形式で防災のことを学んだり、震度2~6強までの揺れを体験しました。終了後には「非常持ち出し袋に何を入れておけばいいかな」「災害のために缶詰買っておこうかな」などの言葉も聞かれ、災害について多くのことを学べた1日でした。地域の方も参加して下さい、共に災害について考えることができました。



★楽しかったグループ外出(9月~10月)

大塚製薬/トリイソース・ワークセンターふたば(LaLaCafe)/ハウス食品の3か所から、それぞれ興味のある場所を選択し、「身近な製品が市場に出るまでの過程を知ること」「働く人の姿を見て働く意欲を高める」という目的で工場見学をしました。同じ就労継続支援B型の仲間がカフェで働く姿は、残念ながら当日は見ることができず、動画を見ながら説明を聞きました。自分達とは違う働き方を知り、刺激になりました。

★楽しかった昼食作り(11月24日・2026年1月12日)

「食べたい・調理したい・献立」の希望を募り、それぞれ自分の希望する昼食を作りました。中華炒め、マーボー豆腐・焼き肉丼など、包丁を使ったり、調理ハサミを使ったり、野菜は手でちぎったりと、自宅でも1人で簡単にできます。自分で作ったご飯は格別、早速、自宅で家族にふるまったご利用者もいました。今後も少しずつでも自分でできることを増やしていきたいと願っています。



ワークセンターさくら

★平均工賃が上がりました

ご利用者の工賃の月平均額が昨年度比25%アップしました!!地元の企業さんの協力による受託量増加、ご利用者の各々の能力や体調を把握し、適材適所の作業提供に努めた職員の支援、何よりそれに応えたご利用者の力、全てが揃った結果です。



★新卒2名が仲間になりました

特別支援学校の卒業生OさんとTさんがさくらの仲間になりました。若くはつらつとした二人が入ってくれたことで作業室の雰囲気明るくなりました。

★昼休みに前庭でのスポーツを始めました

午後の作業が始まるまで、ボールを蹴ったり、バドミントンをしたり、皆の歓声が鳴り響いています。人数分の道具を揃え、庭に準備する人も決まっています。お互いに誘い合い、連れ立って靴を履き替えて外に出る様子は微笑ましい限りです。



ケアセンターコスモス

★ケアセンターコスモスとしての第一歩(4月)

生活介護事業所として初めて新規ご利用者を迎えました。明るく場を和ませるムードメーカーで、歌や踊りが大好き。来所後すぐに他のご利用者とも打ち解け、自然と笑顔が広がっています。新たな仲間として、これからの活躍が楽しみです。



★45年勤続表彰式(4月)

コスモス設立当初より45年にわたり通所してこられたご利用者の表彰式を行いました。長年の歩みに感謝と敬意を込めてお祝い。晴れやかな笑顔がとても印象的でした。みんなから「すごいねー」と言葉を掛けられ誇らしげなお顔。生活介護事業所となりましたが、これからも「仕事を頑張る!」という気持ちは大切にしていきたいと思ひます。

★ケアセンターコスモス開所式(7月29日)

ケアセンターコスモスへと事業種別の変更をし(4月)、建物の修繕も完了(5月)。遅くなりましたが、ケアセンターコスモスの開所式を理事長、関係者の皆様、保護者様らを招き開催しました。式典後は久々に会食も行い、綺麗になった建物の中で新たな門出を祝いました。



生活支援センター やまばと

★相談員の配置変更と働き方の見直し(4月)

牧之原市から委託を受けていた相談員が2名から1名に減、そして内部事情による別の相談員の減(0.5名減)、また、一部職員の業務の見直しなどがあった、事業を始めました。仕事量は1人分の減少、職員は1.5人減の状況となったため、業務の効率化が求められ、当年度も忙しい1年となりました。



★防災意識がぐっと高まった、個別避難計画づくり(7月)

牧之原市社会福祉課からの依頼を受け、相談員たちは「個別避難計画」の作成に関わることに。ご本人やご家族と話し合いながら作成する中で、避難所の確認や、「いざ」という時の備えの見直しも進みました。そして、台風15号の竜巻被害の際、安否確認や関係者との連絡などのため、大いに役立ちました。



★在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修を当年度も開催!(11月)

静岡県から委託を受け、圏域部会と協力して行う研修です。当年のテーマは「暮らしたい場所で暮らし続ける」で、竜巻被害を体験した当事者(人工呼吸器着用)の動画を視聴しました。「入院しても思うような支援を受けられない。自宅でケアされた方がずっと安心」という当事者の声を聴いて、その思いを知ると同時に、彼らを支える訪問介護者たちの誠実な対応に改めて感心しました。また、これからも福祉と医療、その他の機関と連携しながら支えていく必要があることを再確認しました。センターとしては、企画や動画作成等を通して地域課題の取り組みや発信をどのようにすれば良いのか学ぶ事ができました。



ワークセンターあさがお

★恒例の民生児童委員様との交流会(6月26日)

委員の皆様18名と交流。前半は作業を一緒に行い、後半は「ペタボード」という委員さん企画のゲームを行いました。以前にもしたことがあり、とても盛り上がりました。昼食は、委員さんから提供されたサンドイッチをおいしくいただきました。

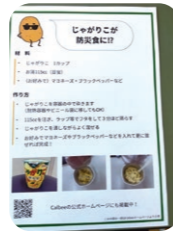


★防災食を作ってみよう(9月22日)

島田市社協様のご協力の下、「蒸しパン」と「じゃがりこサラダ」を作りました。蒸しパンは、



ホットケーキミックスを袋に入れてお湯で溶き、みんなでモミモミ。蒸して30分後もちもち食感で美味しくいただき、じゃがりこサラダはお湯を入れ3分待ってマヨネーズを混ぜていただきました。食べ応えがあり大好評でした。



★数年ぶりの餅つき会(2月2日)

以前と同じボランティア4名の方のご協力がありました。薪ストーブでもち米を炊き、ご利用者の皆さんが餅をつきました。きなこ、納豆、大根おろし、キムチ、あんこ等をまぶし、とても粘りが強く、噛み応えがある餅を皆さん頬張っていました。ボランティアの方々に感謝です。

ライフサポート さふらん

★公用車を新たに

訪問介護事業所にとって公用車は「なくてはならぬもの」です。これまでは、10年以上経過した車を、修繕しながら使ってきましたが、今回、2台の公用車を新しく購入することができました。1台は法人への遺贈金で購入したもの。もう1台は、自分たちの資金で購入。毎日利用者様のご自宅まで職員を安全に運んでくれる公用車を、これからも大切に使用していきたいと思ひます。



★登録ヘルパー初の育児休業復帰

登録ヘルパーの職員が、無事育児休業を終え復帰しました。4月からは正規職員となり、ますます頼りがいある職員になっています。共に働くわたしたちも皆、彼女の育児を応援していきます。

グレイス

★吉田公園にて満開のチューリップを愛でる(4月)

爽やかな春空の下、入居者の皆様と職員で吉田公園へ。満開のチューリップ畑を散策しました。「春の自然に触れ、心身ともにリフレッシュ」がこの外出の目的です。入居者様は色とりどりの花に顔を近づけ、「いい香りがするね」と微笑まれるなど、自然を満喫しておられました。



★外岡先生をお招きしての演芸披露会(6月)

法人研修に先立ち、メイホールにて顧問弁護士外岡潤先生による手品・腹話術・舞踊の披露会。当日は入居者様に加え、通所利用の皆様も観劇。目の前で繰り広げられる鮮やかな手品には「一体どうなっているのかしら」と不思議そうでした。続く優雅な舞踊を見て、外岡先生の多彩な才能に会場全体が魅了されました。驚きと感動が交差する、大変豊かなひとときとなりました。



★恒例の櫓(やぐら)を囲んだ「グレイス 芸能祭」(9月)

今年は「昭和の盆踊り」をテーマに掲げ、施設内で開催。入居者様と職員が昔懐かしい櫓(やぐら)を囲み、馴染み深い音楽に合わせて思い思いに踊りの輪に加わりました。賑やかで楽しい夜を全員で共有することができました。



★笑いで福を呼ぶ「恵みの丘 楽笑会」(1月)

すずらんと合同行事として「恵みの丘楽笑会」を開催。



入居者様と「ボランティアのさくら組」様が一体となり、恒例の獅子舞で開幕。続いて披露された寸劇やクイズに会場は大きな笑いに包まれました。最後は全員の合唱で締めくくり、一年の始まりにふさわしく、たくさんの笑い声が響き渡りました。

居宅介護支援事業所 シャローム

★坂部ふれあいサロンに参加(6月・2月)

私たちが参加し、遊びリレーションでサロンの交流の場を盛り上げています。地域貢献の一環で始め、途中コロナ禍で自粛期間もありましたが、早いもので5年が経過。これからも地域の皆様の笑顔とともにありたいと思ひます。



★やまばとハート号(10月)

法人への遺贈金を活用して車を購入し、シャロームも公用車を持つことが出来ました。また、併設デイの送迎にも出動し大活躍。今まで以上にフットワーク良くご利用者様宅を訪ね、心(ハート)のこもった支援を提供していきます。



牧之原市地域包括支援センター オリーブ

★竜巻災害の甚大さと、地域住民の優しさ

9月5日、台風15号に伴う激しい竜巻が当地を襲いました。家は停電し、電話も通じず、道路も寸断され、残暑厳しい中、わたしたちは利用者さんだけでなく地域の高齢者のお宅を一軒一軒、安否確認と被害状況の把握のため歩いて回りました。その後、今なお被災者支援は続いており、被害の大きさを実感しています。



災害は予測不能なので、今回の経験を事業継続計画(BCP)の見直しにつなげ、職員の安全と地域の安心に備えていきたいと思ひます。

発災直後は瓦礫やガラスが道路に散乱しましたが、片づけていたのは被災地域の皆さんでした。「自分の家もメチャクチャだよ。でも道路がふさがれていると車が通れないだろ。みんなが困るだろ」と。これを聞いたときは、本当に頭の下がる思いでした。

ワークセンターやまばと

★納涼会でリフレッシュ(8月30日)

出張駄菓子屋「まっちゅう」様が来所。午前中は通常通り作業を行い、昼食はご自分で選んだ釜めしを味わいました。午後、これまでの作業棟は駄菓子屋さんに変身!!かき氷や、たくさんの駄菓子の中から好きな物を選び、楽しんでいました。

★坂部にある「大関農園」様のご招待で青島みかん狩り(12月22日)

大関農園様でのみかん狩りは10年以上前から続いています。大きくておいしそうなみかんをビニール袋一杯収穫しました。季節を感じながら収穫の楽しさ、喜びを感じることができました。ありがとうございます。

★富士山静岡空港で昼食と買い物(3月13日)

「ラーメンにする!」と前日から決めていた方、迷って往復しながら考える方など、いろいろでしたが、皆さん、ご自分で券売機でチケットを購入し注文することができました。お土産等も購入され、笑顔溢れる体験でした。働いて得た工賃で好きなものを食べ、好きな物を購入する経験を積み重ね、働く意欲の向上に繋がっていけば嬉しいと思います。

わかば・もくれん

★毎月第一日曜日に吉田港海岸清掃へ

天候不良で中止になることが多かったのですが、Love continues主催のこの活動に参加しました。ゴミ拾いも一生懸命ですが、活動後のコーヒーも楽しみの一つ。活動中もコーヒータイムの時も、充実感溢れた表情を見せてくれました。

★わかば・もくれんのご利用者がもくれんに集まりラーメン作り(5月6日)

自分たちで麺を茹で、具材を切り、トッピングをして出来上がった順に熱々のラーメンをいただきました。皆が豪快に麺を頬張る姿は、実際にラーメン屋に来たかのように見えました。

★もくれんで2年ぶりのビュッフェパーティ(12月14日)

ホールの中央にテーブルを配置して、焼きそば、唐揚げ、サンドウィッチ等々ご利用者が大好きなメニューをそろえ、点心、スイーツ、フルーツも合わせ盛りだくさん。皆さん、自分のお皿に目いっぱい料理を乗せ、満足そうに食事を楽しんでいました。

ワークセンターふれあい

★工賃アップに貢献『アルミ缶潰し作業』

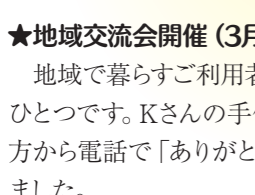
当施設では、月1回ボランティアさんの力を借り川根地区のアルミ缶回収を行っています。施設に設置してある大きな回収箱は、常に地域の方達から頂いたアルミ缶で山盛りいっぱいです。アルミ缶の買取単価も上昇し、ご利用者の工賃に反映することができました。

★仕事体験「輝きウィーク3」に挑戦!(2月)

2名のご利用者さんが参加しました。Mさんは、過去に経験した介護職以外で自分の可能性を見つけようと参加を決意。Yさんは輝きウィークに参加することにより就労への1歩を踏み出そうとしています。介護士だった兄の背中を追いかけ、今後は介護施設の企業見学を目指しています。

★地域交流会開催(3月)

地域で暮らすご利用者のみんなにとって、この交流会は心待ちにされている大切な行事のひとつです。Kさんの手作り雑巾を手に、近隣のお宅を一軒ずつ挨拶して回りました。開催後は、地域の方から電話で「ありがとう」という労いやお礼の言葉を頂き、職員・ご利用者全員で温かい気持ちになりました。



相寿園

★感染対策をしながら、納涼祭を開催(7月22日)

マスク着用の開催となりました。ご利用者からも、開催についての問い合わせがあり、楽しみにされている行事の1つだと感じました。前半は、お菓子のつかみ取り等の模擬店、後半は、バイキング形式の食事・ビンゴ大会。当日は、退職した職員をボランティアとしてお招きし、とても有意義な時間を過ごせました。

★マスクをしながらの運動会(10月21日)

納涼祭同様、マスク着用で開催。体を動かすにあたり、マスク着用は辛かったのですが、お願いしました。競技中は、マスクを忘れるくらいに白熱。普段穏やかなご利用者も、勝負師の目になっていました。活気に満ち溢れた運動会。皆さんの体力が続く限り、続けていきたいものです。

★年末最後のイベント「クリスマス会」(12月18日)

まだまだマスクを外せない日々を過ごしなが年末最後のイベント。相寿園のクリスマス会は、カラオケ大会がメイン。披露曲を練習し、いざ本番。披露前は、緊張した表情、披露中は堂々とした姿、披露後は、笑顔でステージを降りる姿、様々な表情を伺うことができました。

★2回に分けて新年会を開催(1月13日・29日)

お食事処「池田屋」で行いました。外出行事については、希望を募って出かけていますが、新年会は、ほぼ全員参加。前日から、ソワソワする様子が見られました。当日は、普段食べる機会がないお刺身を食べ、ノンアルコールを飲んで楽しいひと時を過ごすことができました。また行きたいという言葉も多く聞かれました。

★2回に分けて春の外出、天候が心配(3月5日・24日)

数年前までは、桜が見頃の時期を予想して企画していましたが、見頃の時期の外出調整が難しくなり、開花時期に拘らず企画。今年、吉田公園散策、牧之原サービスエリアでの食事を企画。吉田公園では運良く、桜が咲いていて天気もよく、気持ちよく散策できました。

ワークセンターカサブランカ

★一般企業への就職者、2名!

2025年年度、ご利用者の就職先は、「(株) ジャパン・スリープ 島田プロダクションセンター」様(7月2日)。「ネスレ日本(株) 島田工場」様(2月1日)です。どちらの会社も、見学、面談、面接と就職に至るまで、期間をじっくり取って下さり、おかげで、ご利用者は安心し自信をもって就職することができました。これで終わりではなく、ここからが出発。今後も長く働いて行くことが目標です。頑張ってください。皆で応援しています。

★島田警察署交通課の方を招いて交通安全講習会(7月9日)

自転車の交通ルールと安全運転について、交通事故の怖さ、事故の対応について、講話と動画にて学習しました。

★日帰り研修旅行、熱海ふれあい作業所へ施設見学(3月20日)

ご利用者7名職員4名で見学に行ってきました。作業内容が、当事業所と同じリサイクル資源ごみの分別を行っているB型事業所で、夏に当事業所に視察に来ていただいたこともあり、「百聞は一見に如かず」というわけで作業のやり方などを拝見してきました。とても刺激を受け勉強になりました。もう一つ、連休の観光地、熱海の大混雑を体験できました。

